

	NPO 法人 京都観光文化を考える会 都草だより	第49号 発行人：小松香織 編集人：西野嘉一 発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁旧本館2階 電話：075-451-8146
---	------------------------------------	--

■【「祇園祭・前祭」のガイドを体験して】



信じられない猛暑が続いている宵々山の7月15日、前祭の山鉦を案内しました。スタートは例年通り、「からすま京都ホテル」。参加者は12名。担当者3名が4名ずつを受け持って出発。私の担当の内3名は仙台や埼玉など東日本からの参加です。遠方からのお客様にお会いして、「日本三大祭の一つ」祇園祭の知名度の高さを改めて認識しながらスタートしました。

まず、四条通に勢ぞろいしている山鉦から見ていただきました。山鉦の説明では豪華な懸装品を覗いていただき、普段目にすることの無い屋根よりも上の「真木の部分」や下部の「石持」などにも注目をしていただきました。この一年ほど、都草の「わくわく倶楽部祇園祭研究会」で山鉦について詳しく勉強したことが契機です。「真木の部分」は、鉦の真髓が凝縮されています。鉦頭は鉦の象徴、その下にはほとんど気づかないようですが、鉦の要である「ご神体」があります。次いで「赤熊」、その間にある「榊」、真木を支える「禿柱」を覆っている「網かくし」など。また鉦を安定させる下部の石持や車輪など、支えている部分も見させていただきました。皆さん、こういった話によく付き合ってくれたなど今更ながら感謝しています。長刀鉦から函谷鉦、菊水鉦、月鉦、船鉦、岩戸山、綾傘鉦、蟻螂山、占出山など10箇所ほど巡りました。私の意図が何処まで伝えられたか、自信はありませんが、自分自身には良い体験になりました。

(会員 土山 文和)

■わくわく倶楽部 祇園祭研究会



山伏山 前水引

コンコンチキチン コンチキチン、7月の京都は、祇園祭一色となる。祇園祭を知らないという人はひとりもいないのではと思えるほど日本を代表する祭のひとつといえよう。しかし祇園祭について詳しく知る人は案外少ないのではないだろうか。

「わくわく倶楽部祇園祭研究会」では、芦田理事を中心に毎月一回、いろいろな形で祇園祭を楽しく勉強している。

時には祇園祭に直接携わる方をお招きし、奥深いお話をお聞かせいただいたり、粽作りや二階囃子の見学に出掛けるなど貴重な体験もさせていただいた。このような事から祇園祭をより身近に感じられるようになった。

祇園祭研究会では、『山鉦に描かれた動物たちを探そう』をテーマにひとり2、3の山鉦を担当して研究に取り組んでいる。まずは文献による調査から始めた。それにより担当の山鉦の知識も深められた。宵山等ではみんなで手分けして直接山鉦から動物を確認する事にしている。最終的には冊子にまとめ発表できたらと希望している。千年以上続く祭の継承のほんの少しにしかなれないだろうが、祇園祭研究会がその一端を担えればとおこがましく思っている。これからも会員みんなでわくわくしながら祇園祭を研究し合って参ります。わくわく倶楽部のシンボルマークのドヤ顔のように、祇園祭について質問されたら何でも答えられるように目指します。(会員 植村 多賀子)

■「京（みやこ）のこと語り隊」に参加して



都草では多くの「おでかけ講座」が実施されています。京都の歴史・文化などを小学生から高齢者まで、各世代ごとのニーズに合わせた内容で「京都好き人間」を増やすため、講座を組織化して陣容を拡大し、質量ともに充実させることを趣旨とした「京のこと語り隊」の新たな勉強会が始まりました。私は早くから都草に入会していましたが、今までなかなか活動に参加できませんでした。今年、会社を退

職したのをきっかけに京都の案内活動を始めたいと思っていたところ、1月に「京のこと語り隊」の募集がありましたので、チャレンジすることにしました。

今回のテーマは、『京都の三大祭り』と世界遺産に登録された『17カ所の神社・仏閣・城』です。2つの班に別れ原稿作成し、テーマ全般の発表を一人一人ができるまでのレベルになることを目標としています。原稿作成にあたり、今まで拝観した際にいただいた案内書や撮影した写真を引き出してきたり、また図書館で関連の書籍を借りてまとめています。それにより新たな発見があったり、疑問がでてきたりと楽しく勉強させていただいています。8月にメンバー間での発表会があり、レジメとパワーポイントの作成を行う予定です。

最終的にはお客さまへのご説明になると思うとどこまでの情報を持っていなければいけないのかな？など不安にもなりますが、少しでも「わかりやすく、楽しく」聞いていただけるよう頑張りたいと思います。

(会員 宮澤 佳代)

■新任理事「自己紹介」



この度、理事に就任させていただきました中島孝和と申します。歴史探訪会とガイド研修会を担当します。よろしくお願ひします。長らく損害保険会社及び業界団体に勤める「転勤族」で、名古屋・東京・長野・奈良・札幌・大阪・和歌山・高松等各地での生活を体験しました。振り返ればいずれも懐かしく、もう一度訪れたい所ばかりですが、文化歴史や四季折々の風情が最も身近に感じられるのは、やはり故郷でもある京都です。

今後は更に深く楽しみながら学び、様々な活動を通じて多くの方々の役に立つよう努めます。健康状態は概ね良好ですが、アルコールは少なめにするよう、アドバイスを受けています。体力向上の為、今後とも週2回程度はスポーツジムに通い、ゴルフのスコア維持も図りたいと思っています。

(理事 中島 孝和)



今年度、新しく理事に就任させて頂くことになりました、須田清司と申します。ガイド研修会とガイドツアーを担当します。正直なところ、このような大役をお引き受けするに際し、不安も多々ございますが、会員の皆様様が都草の活動を通じ、「心躍る時々」を共有できればと思い、微力ながらお手伝いさせていただくことにいたしました。

振り返りますれば、6年前の観桜祭に初めて府庁旧本館を訪ねましたところ、案内いただいたのは、なんと、小松現理事長でした。案内後、都草の紹介があり、その中で「小松香織と申します。良い名前でしょう。」の一言で、入会させて頂く決心をいたしました。あの時感じた何か楽しそうな、何か面白い事がありそうな集まりだなあ、と思ってもらえるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。(理事 須田 清司)